

上州藤岡

2009北関東大会(3.5MHz)での私の判断と行動

2009年5月10日(日)
於 群馬県藤岡三名湖
安島 巧

現地調査 埼玉ARDFクラブ、群馬ARDFクラブ
地図製作 群馬ARDFクラブ

2009-May-10 群馬県藤岡市
2009北関東ARDF競技大会
2009高等学校ARDF競技大会

縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m

500m



初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

スタート前情報

「北にある川越街道は交通量がとても多いので、絶対に渡らないこと」という注意があった。

「川越街道と言っても地図ではわからないので、街道北側を立ち入り禁止区域にしておけば良いのでは？」と思ったが「ギリギリにTXがあるかも知れないから」とのこと。

これを聞いたら、どうしてもその付近まで行きたくなってしまう。

上州藤岡

あなたならどう攻めますか？



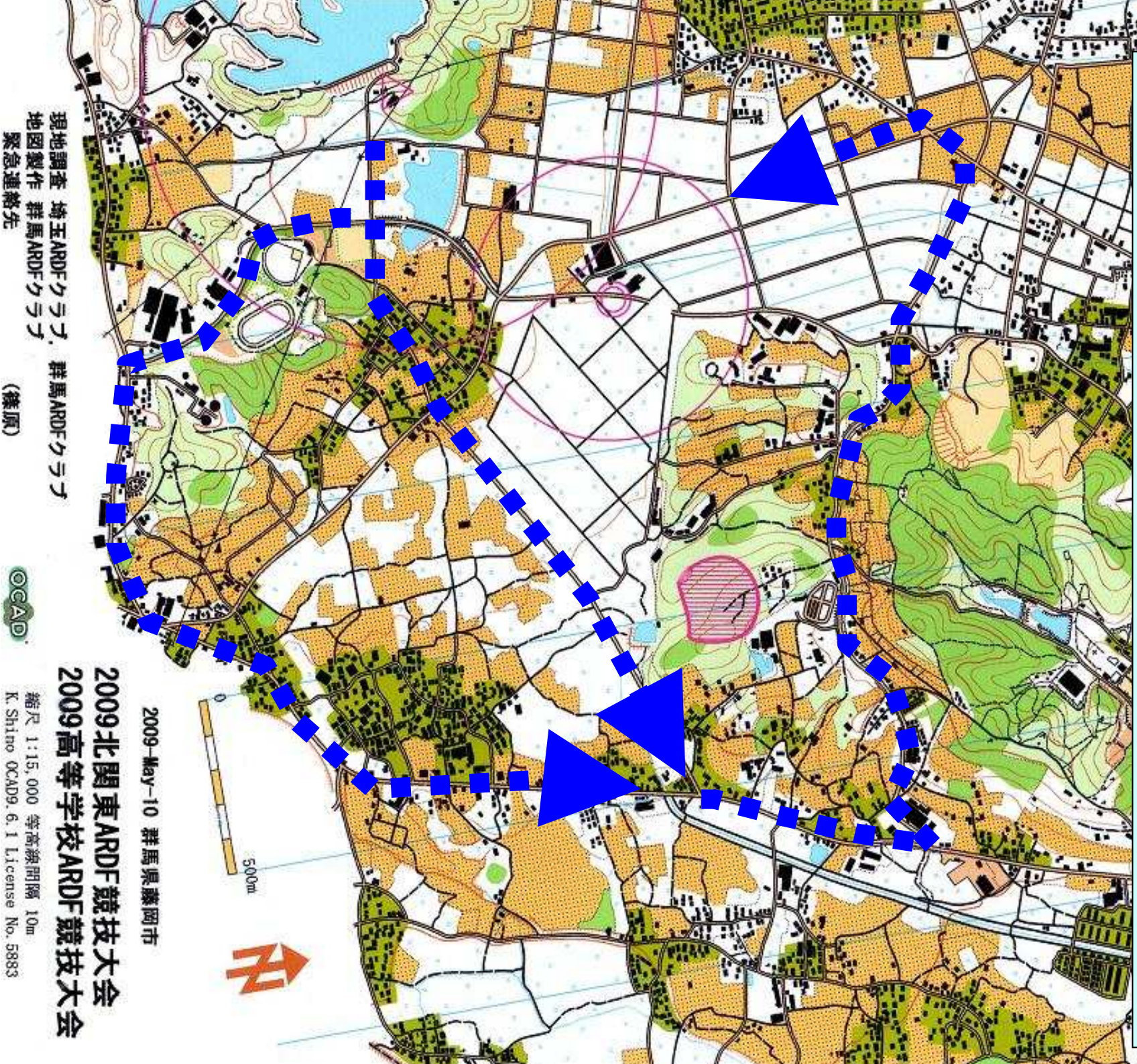
現地調査 埼玉ARDFクラブ、群馬ARDFクラブ
地図製作 群馬ARDFクラブ

2009北関東ARDF競技大会
2009高等学校ARDF競技大会

2009-May-10 群馬県藤岡市

縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m

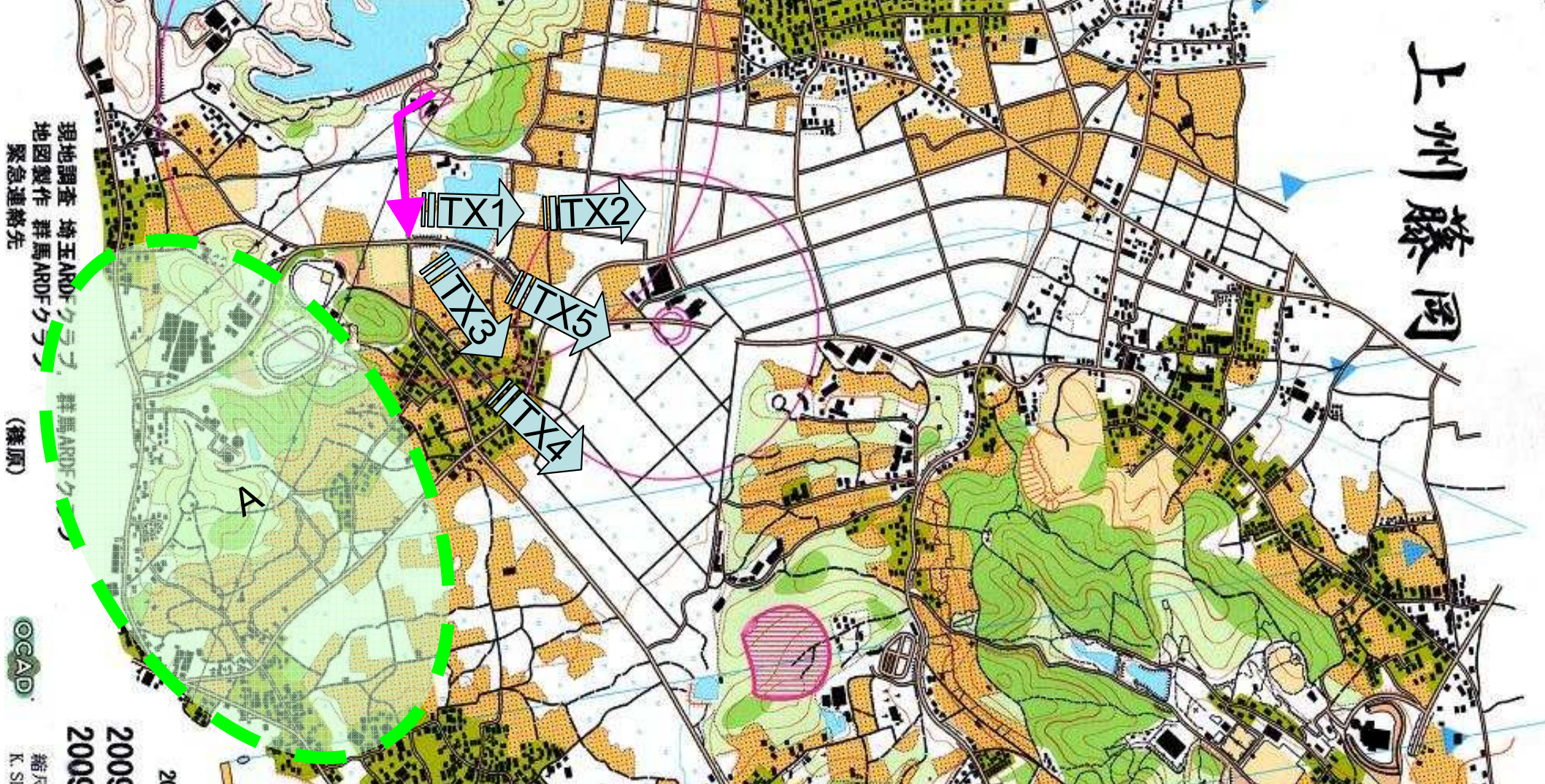
①スタート前の
地図読み
まず、3.5MHzと
しては地図の範
囲が広いとい
うのが第一印象。
地図の北半分は
不使用と予想し、
今日のメイン
ルートは青線と
する。最初の判
断は、交差点で
まっすぐ行くか、
右折するかだ。
また、今日は6
番スタート。早め
なのでタイム
オーバーができる。
今日は真夏日だし。
昨日と同じく全ゲ
ットモードで行く
か？



現地調査 埼玉ARDFクラブ、群馬ARDFクラブ
地図製作 群馬ARDFクラブ
緊急連絡先 (篠原)



2009-May-10 群馬県藤岡市
2009北関東ARDF競技大会
2009高等学校ARDF競技大会
縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
K. Shino OCAD9.6.1 License No. 5883



②探索開始地点

前述の交差点が探索開始地点だった。しかし電線だらけ。こんなところで方探したくない。左折して橋の上で方探している人が数人いるが、鉄製の橋なので状況はあまり変わらないと思われるし、少なくともそちらの道をいくことはないの、交差点でなるべく電線から離れた位置を探して慎重に方探。方位は不確かだが、少なくとも右折したAエリア方面にはなさそうということがわかる。従って直進する。

③正しく方探
電線の影響を受けない場所をようやく見
つけ、そこで方探する。TX5(M40では不
要)とTX3の強度はそこそこ。TX1,2は弱
く。TX4は限りなく弱い。TX3は道なりな
ので、第一ターゲットをTX3とする。



現地調査 埼玉ARDFクラブ、群馬ARDFクラブ
地図製作 群馬ARDFクラブ
緊急連絡先 (篠原)



2009-May-10 群馬県藤岡市
2009北関東ARDF競技大会
2009高等学校ARDF競技大会
縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
K.Shino OCAD9.6.1 License No.5883

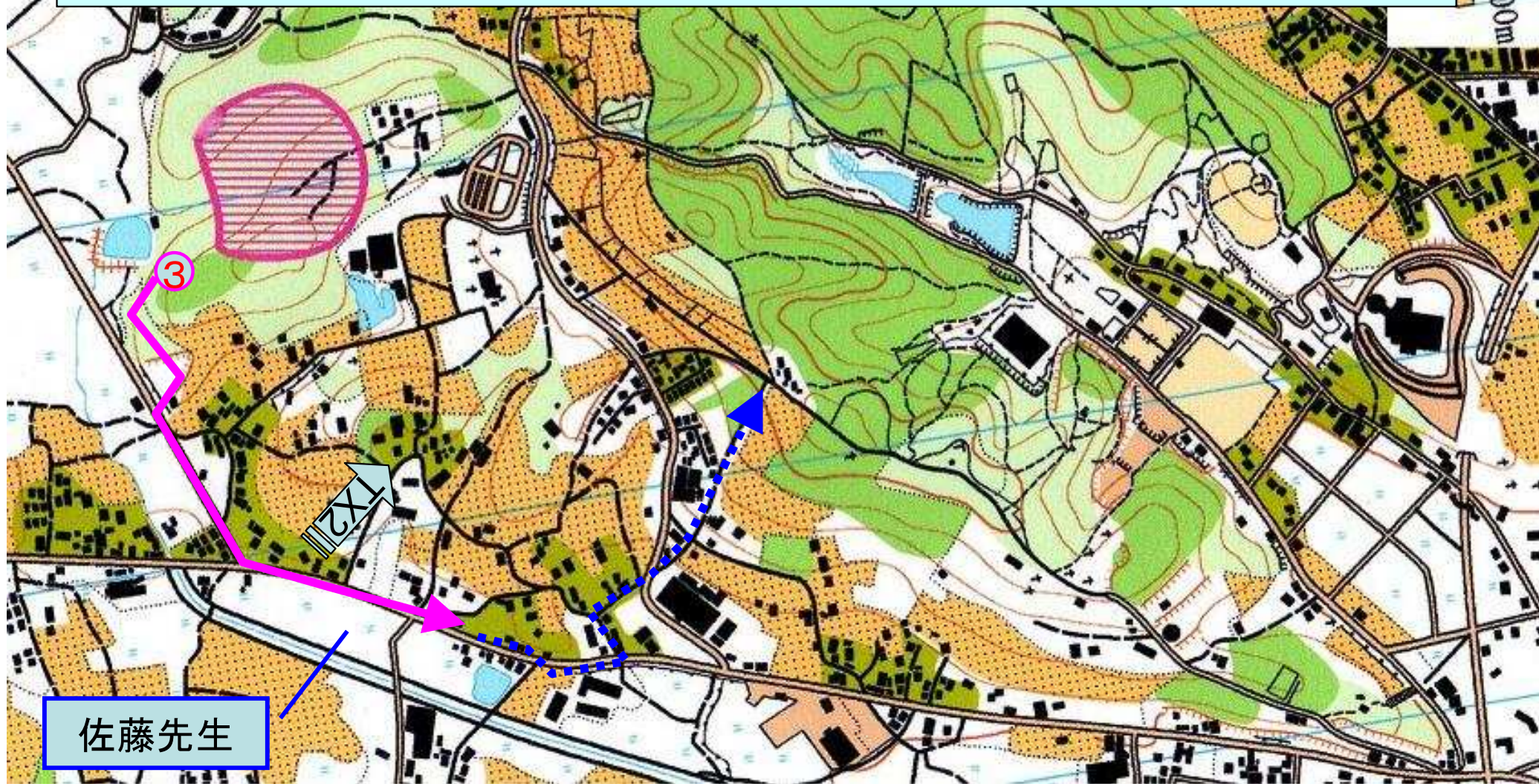


④TX3

途中の方探で池付近と推定して進む。池の脇
辺りでまた鳴く。近距離で池裏の山上部と確定。
横道に入り、山の入り口までダッシュしたところ
で停波。そのまま山道をあがっていくと、佐藤先
生がドドドッと走り降りてくる。道が水平になっ
たところで高校生が数人がうろうろ。これだけ人
がいれば、様子を見ているだけで場所がわかる。
TX3ゲット

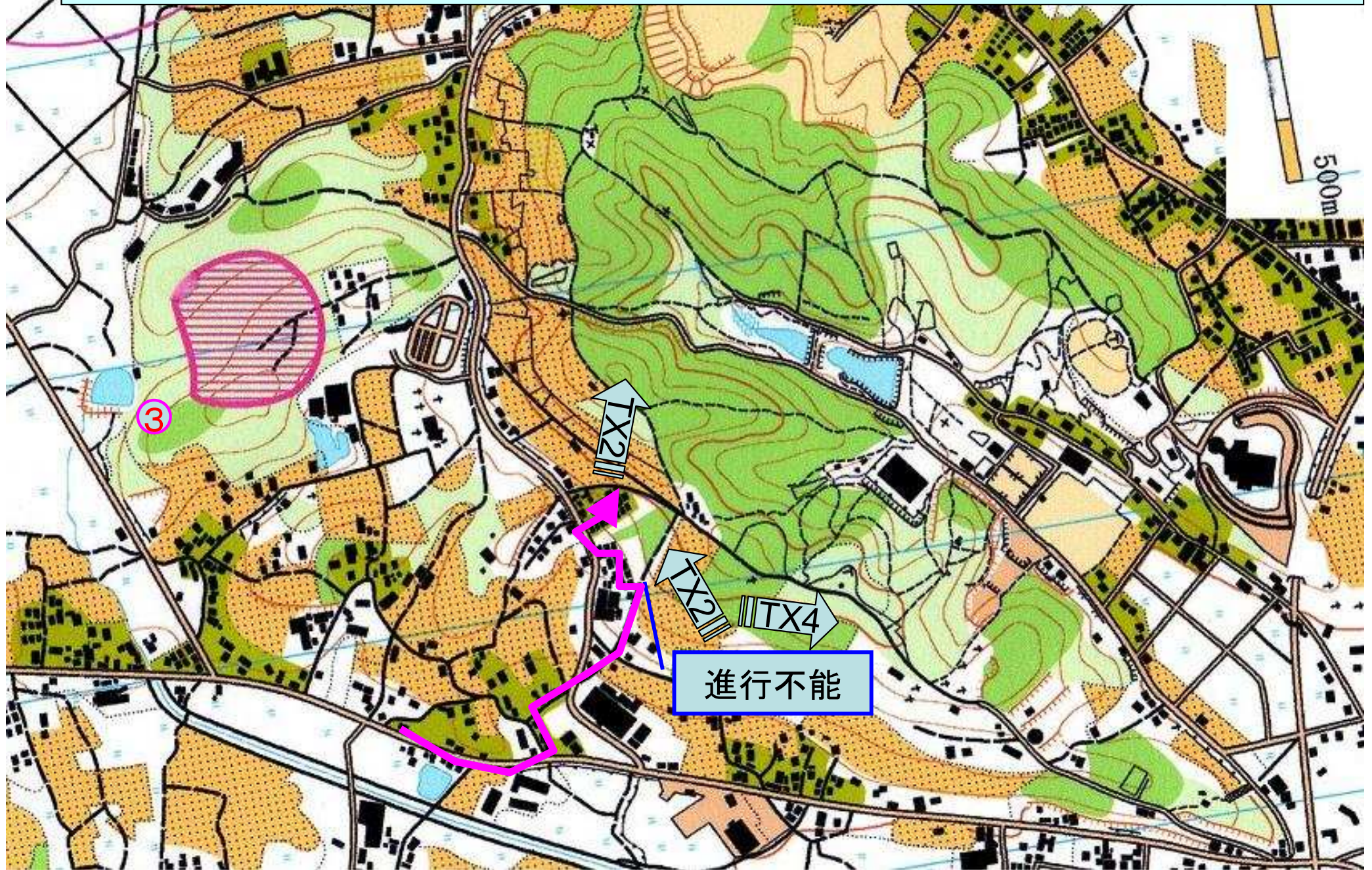
⑤ 次のターゲットはTX2

道に戻り、道なりに遠くにあると思われるTX4を目指すが、途中でTX2がしっかりと聞こえてきたのでTX2を次のターゲットとする。電線から離れた良い方探地点に陣取って佐藤先生が方探している。やられた！良い場所確保は早い者勝ちだ。自分は電線呪縛から逃れられないため方探はせず、信号強度だけを確認して先へ進む。方向的には左の山上である可能性が高い。どこから登るのがかが問題だ。メインコースは電線がつき物なので、青線のように進むことを考えた。



⑥進めない

TX2がすぐそこであるが、道が笹藪でふさがり進めない。しかたなく民家の庭先を失礼して回り道する。急坂を上ったところでまたTX2が鳴く。さらに上の頂上道の方だ。



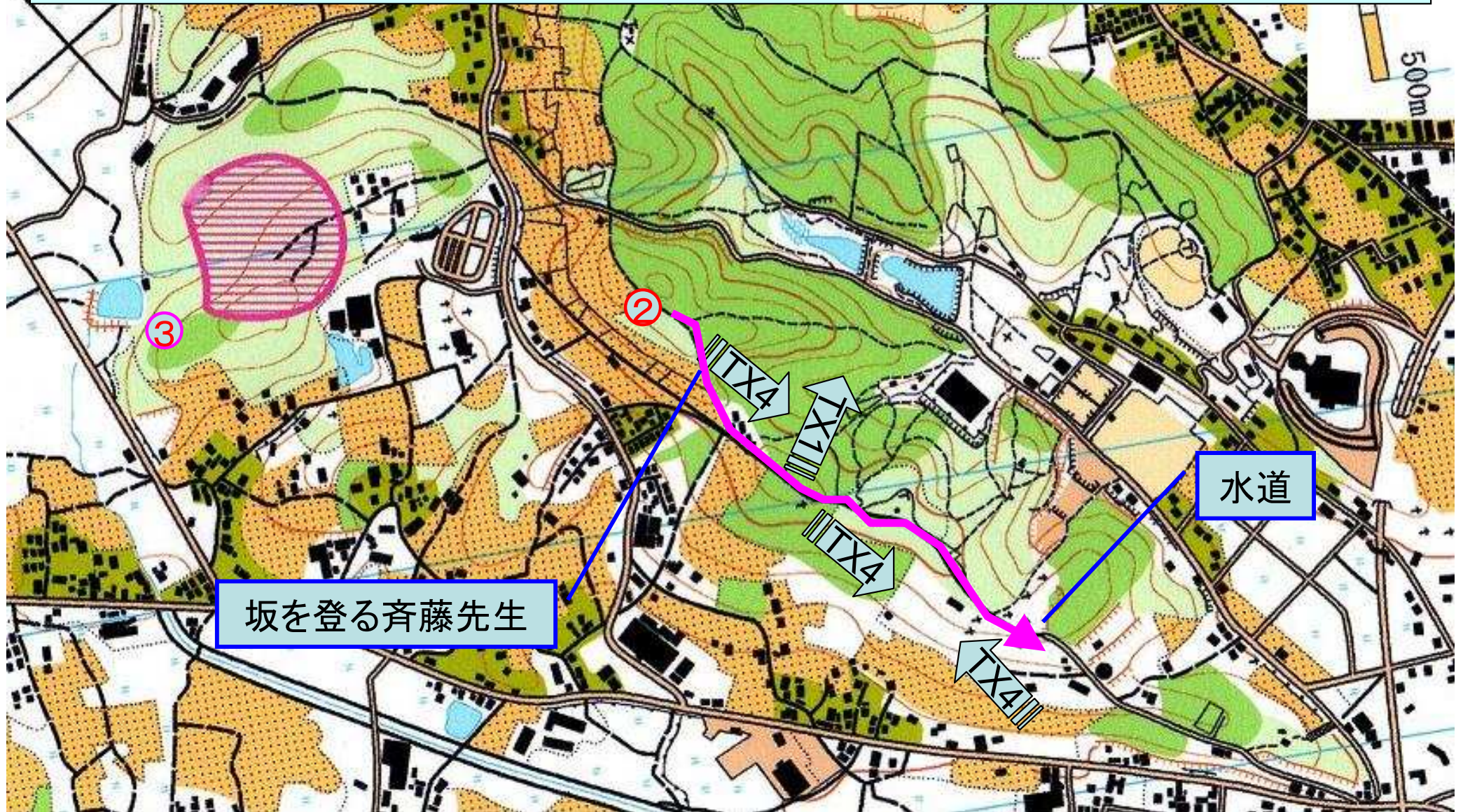
⑦TX2

頂上道まで上がりTX2を待つ。TX2が鳴く。至近距離だ。あわててATTを絞ってダッシュ。TX2ゲット。次は最も遠いTX4だ。



⑧ひたすら尾根道

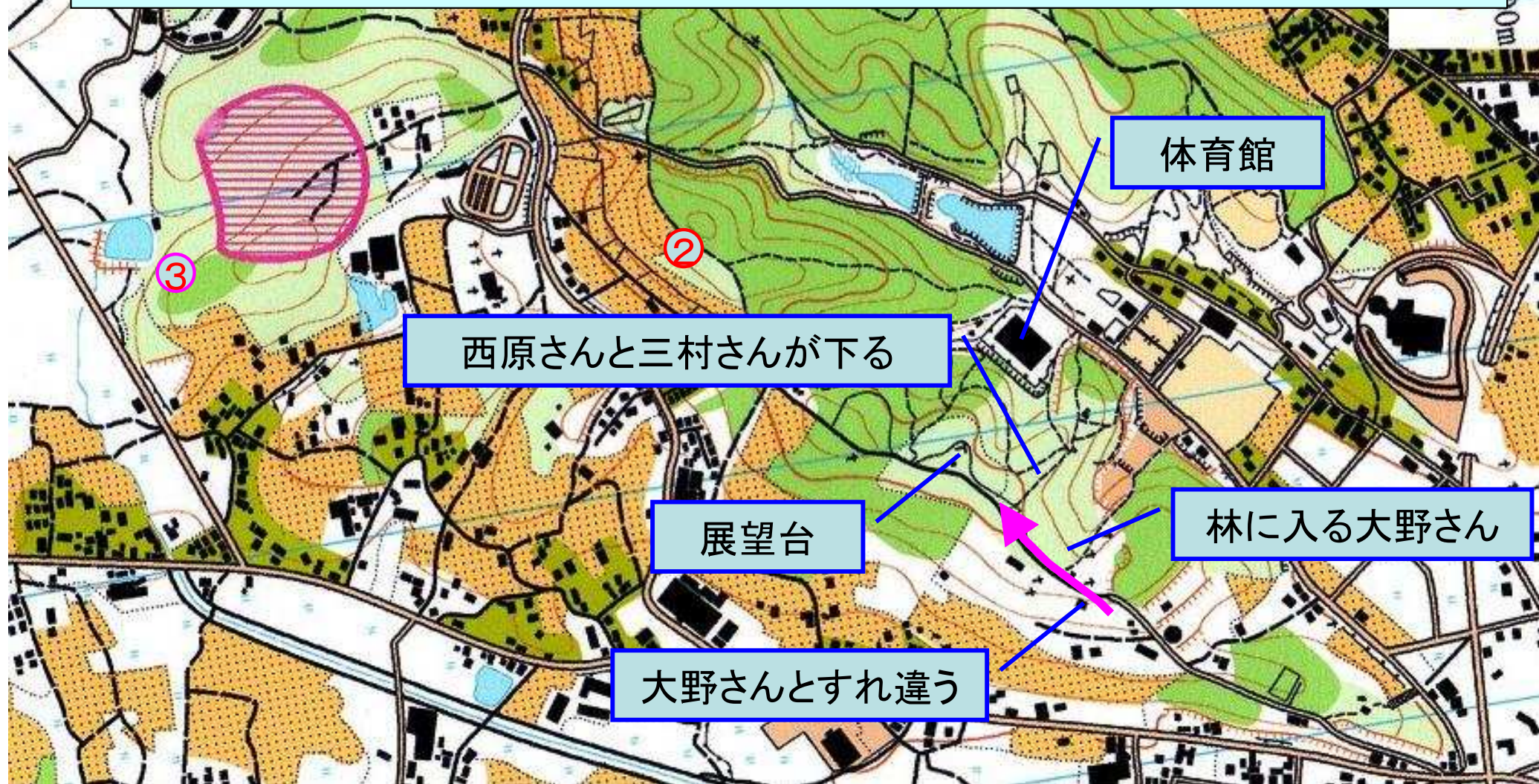
坂を下るとき斉藤先生とすれ違う。TX4はずっと道なりに弱い。やはりこれは川越街道まで連れて行かれるのか。あまりにも暑いので霊園の水道で水をぐびぐびしたあと、電線ありの道路になってきたので、すこし道を外れた木陰に入り、虫と格闘しながらTX4を待つ。ええっ後ろ？何度も確かめるが、自信はないがやはり通り過ぎてきた模様。やられた。



⑨すぐ近くのはずだけど

坂を上り始めたところで下る大野さんとすれ違う。また三村さんが後ろから坂を上ってきた。霊園の交差点から少し林に入り眺め回してみるが、見当たらない。戻ってきた大野さんがさらに深く林に入っていく。自分はさらにもう一筋登ってみる。そこでも見当たらない。もう少し登ると展望台があるが、先程その近辺で方探している結果からするとその付近ではない。となると今、自分がいる辺りにTX4はあるはずだ。

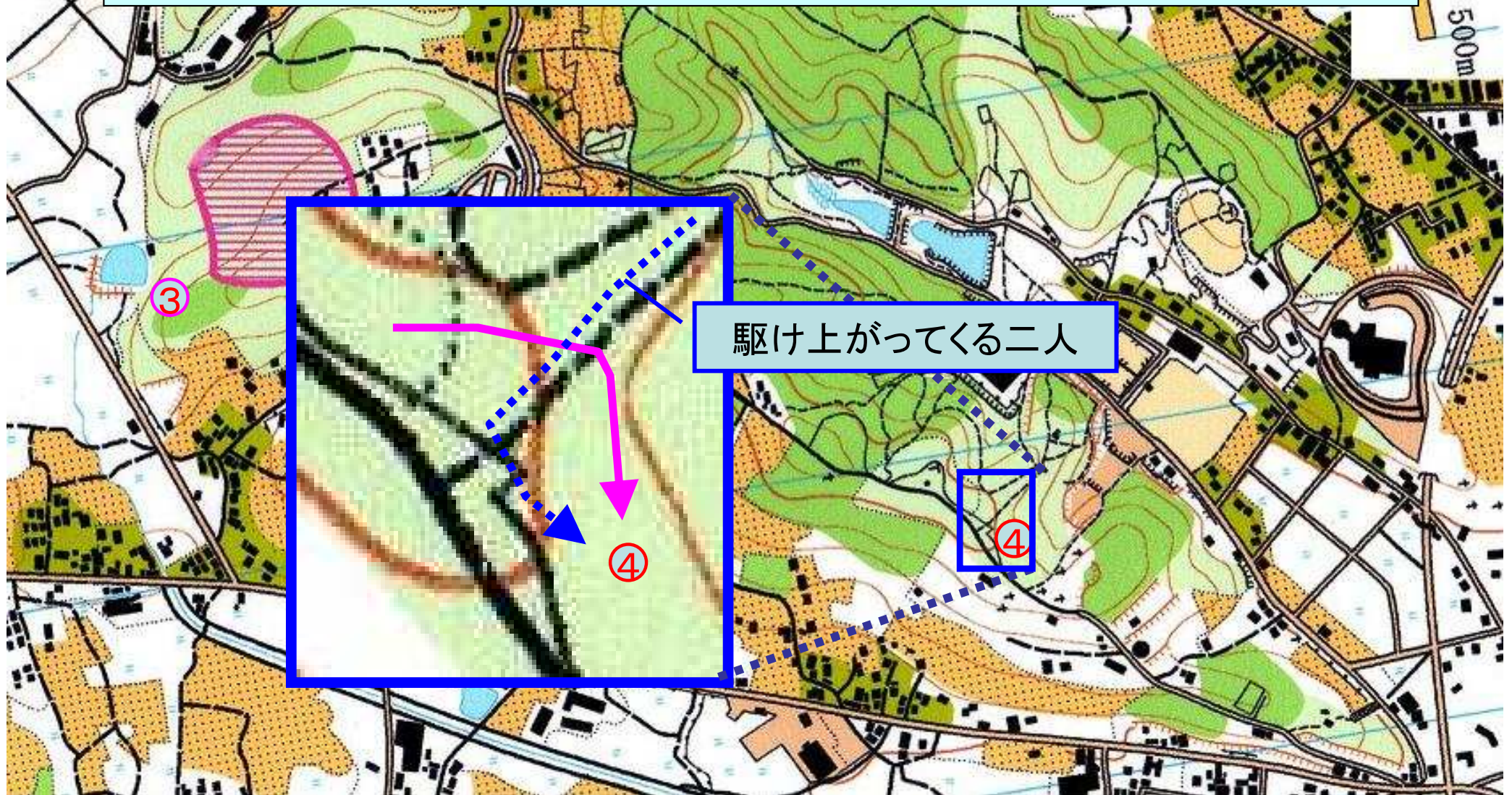
西原さんと三村さんが勢い良く体育館の方向へ下っていく。底知れぬ体力だ。



⑩TX4

TX4が鳴く至近距離だ。下から西原さんと三村さんが駆け上がってくるのが見える。あわててATTを絞り方探して2人が駆け上がってくる道に到達し、斜面下を見回す。あった。

私は直接向かう。二人は道をそのまま上まで駆け上がり、そこから降りてくる。彼らのほうが早かった。TX4ゲット。



⑪ 体育館方面へ

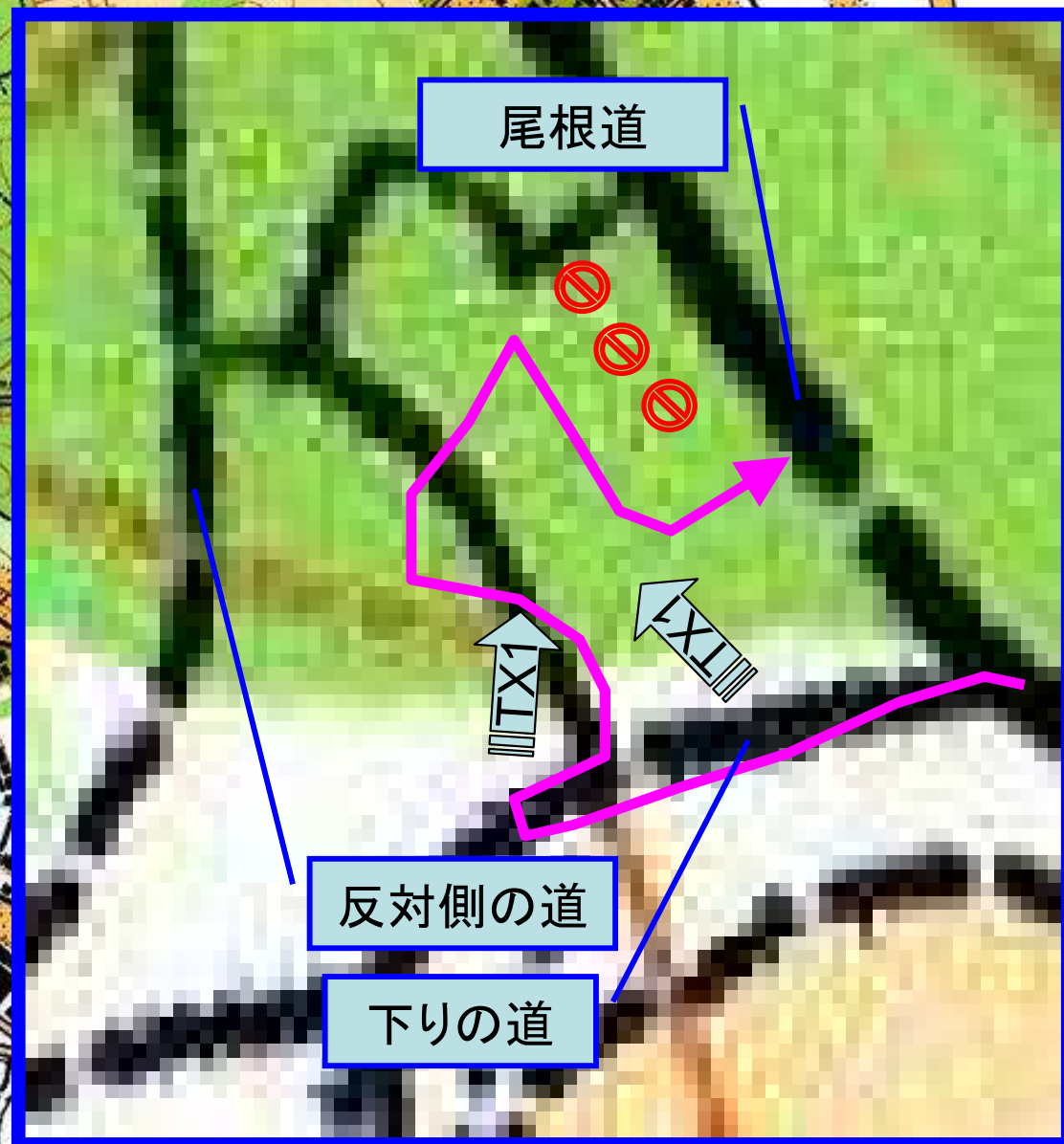
西原さんに続き私も体育館方面へ降りていくが、三村さんは降りてこない。どうしたのだろう。TX1は向こう側の山だ。

頂上の手前でTX1が鳴く。だいぶ近い。道なり山の上だ。悲しいかな登りなのでダッシュはできない。頂上に着く寸前で左から出てきた斉藤先生とすれ違う。ゲット済みの様子だ。自分は頂上へつき公園の水道で水をぐびぐびして交差点でTX1を待つ。



⑫とんでもない藪コギ

TX1が鳴く。このやぶの中で超近距離だ。どちらかというとなりに下る道。下りながら方探すると確実に方位が変化する。完全に位置をつかんだ。そこで、藪に飛び込むが見当たらない。その方向にかきわけ、かきわけ、進んでいくが見つからない。もしかしたら反対側の道からのほうが近いかもしれない。これ以上進むと危険そうなので、上の尾根道に脱出することを考える。藪が深く周囲がまったく見えないので、コンパスを見てひたすら北方向に進む。さらに移動困難になってきた。TX1の時刻になったが、イヤホンコードが笹とひどく絡まり方探どころではない。つるが首を絞める。あと数mで道に出られるはずなのだが、30秒で1mくらいしか進まない。そのうちそれもままならなくなり、上の道に出ることをあきらめ、東(右)のほうへ迂回してなんとか上の尾根道に出た。



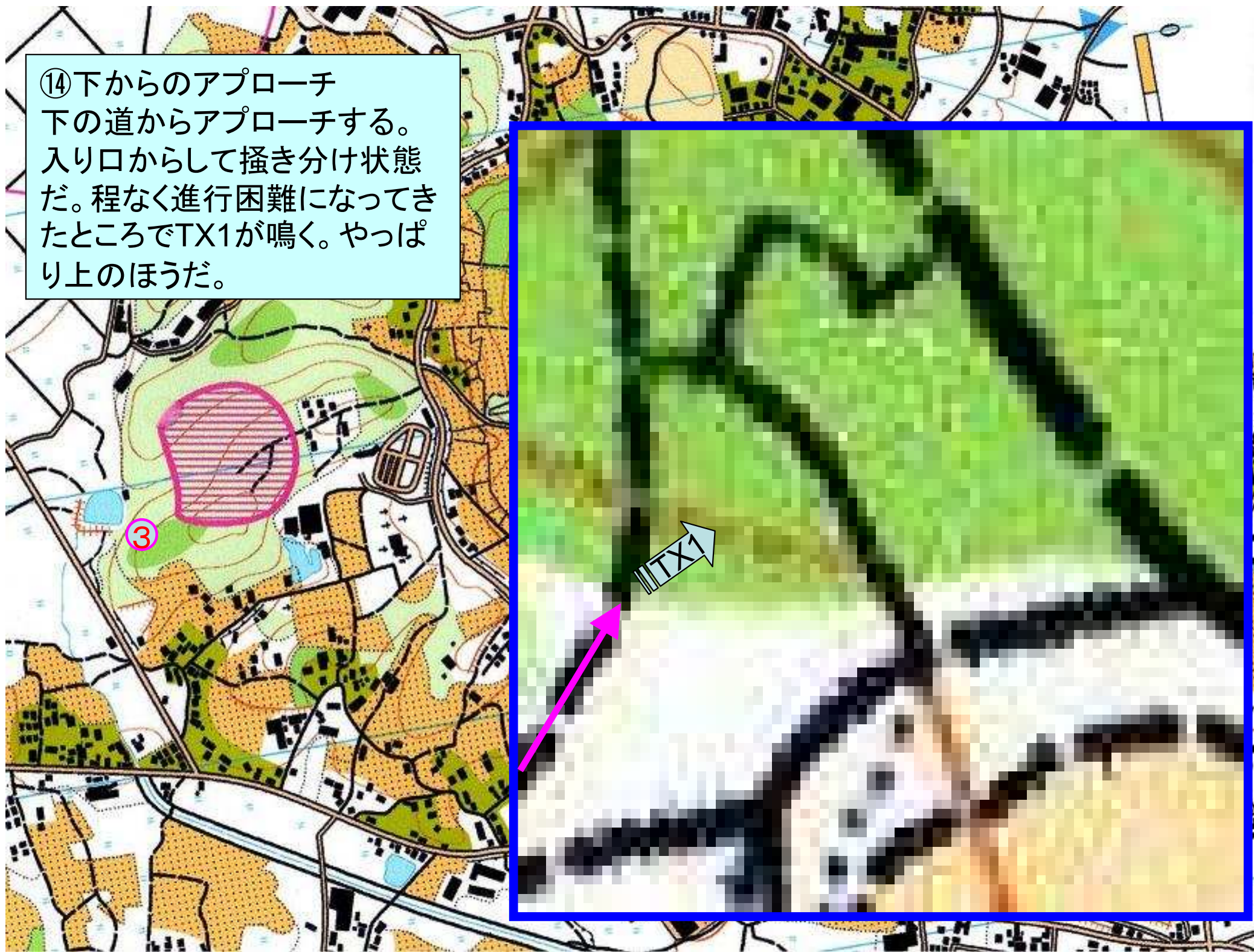
⑬超至近距離なんだけど
反対側の道を上から降りることを考える。三村さんが上のほうからこちらに来て降りてきて下へいく。まだゲットしていない様子だったので、反対側の道へいくのを躊躇する。
TX1がまた鳴く。道を横に移動しながら方探するとやはり目の前の藪の中。でも10mくらいはありそうなので、やはり横の道からの方が近そうだ。横から方探(さっきと同じだが)してもやはり同じ場所だ。
位置は確定しているなので、どこから入るのかだけが問題だ。

下ってくる三村さん

反対側の道



⑭下からのアプローチ
下の道からアプローチする。
入り口からして掻き分け状態
だ。程なく進行困難になってき
たところでTX1が鳴く。やっぱ
り上のほうだ。



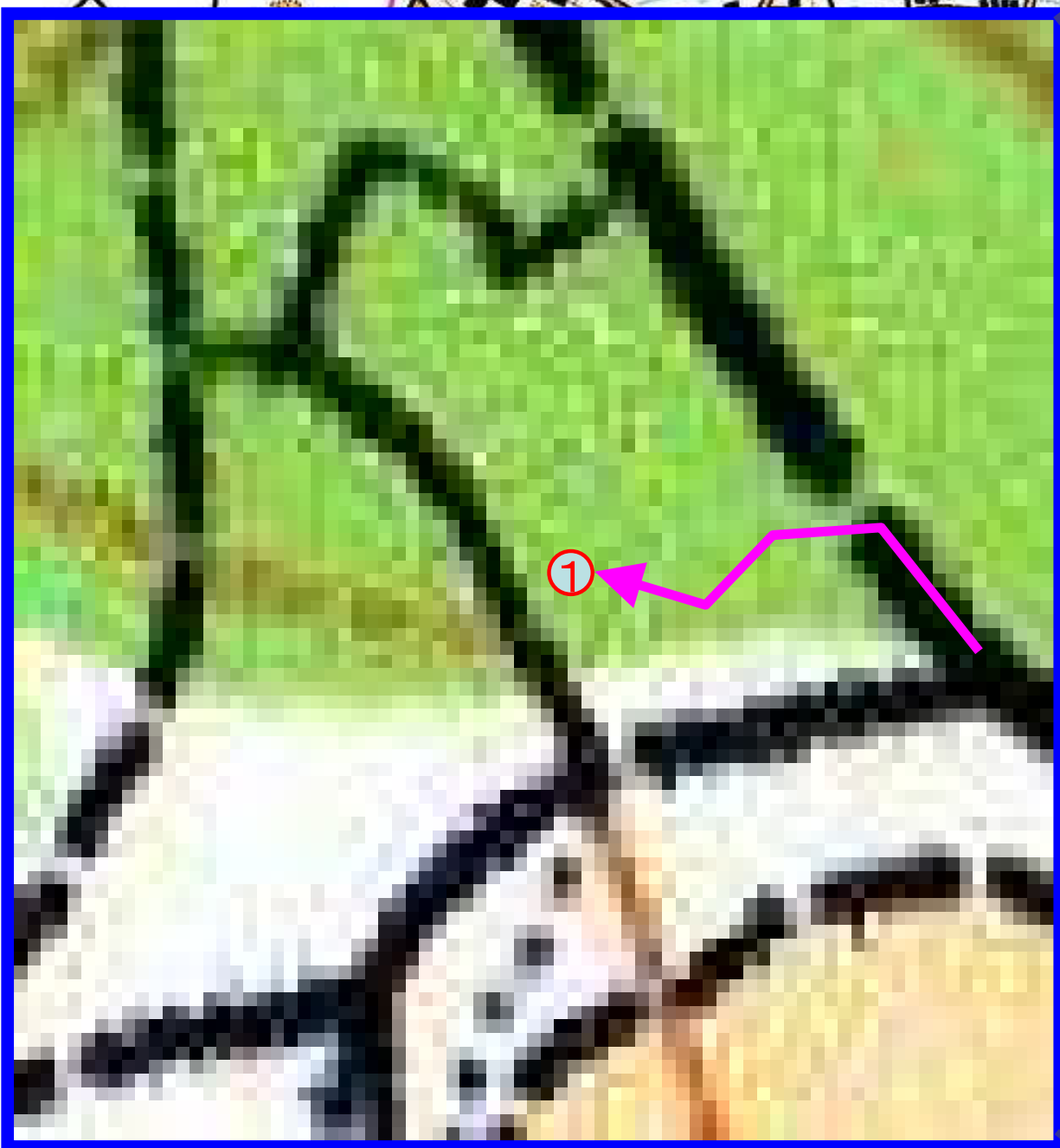
⑮ローラー作戦

必死の思いで引き返して、横道から入れそうなところを片っ端から入って目視探索してみる。

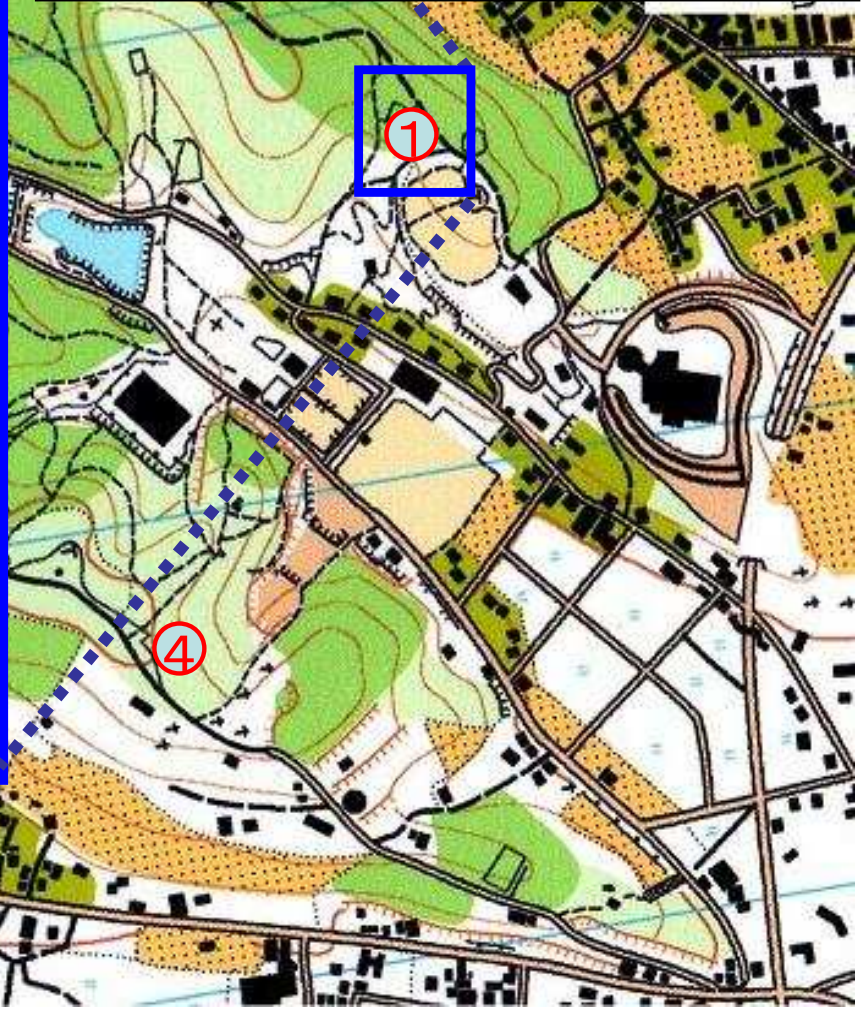
藪の中でガサゴソしている人がいる。ほんの5mほど先だがなんとなく三村さんということがわかる。

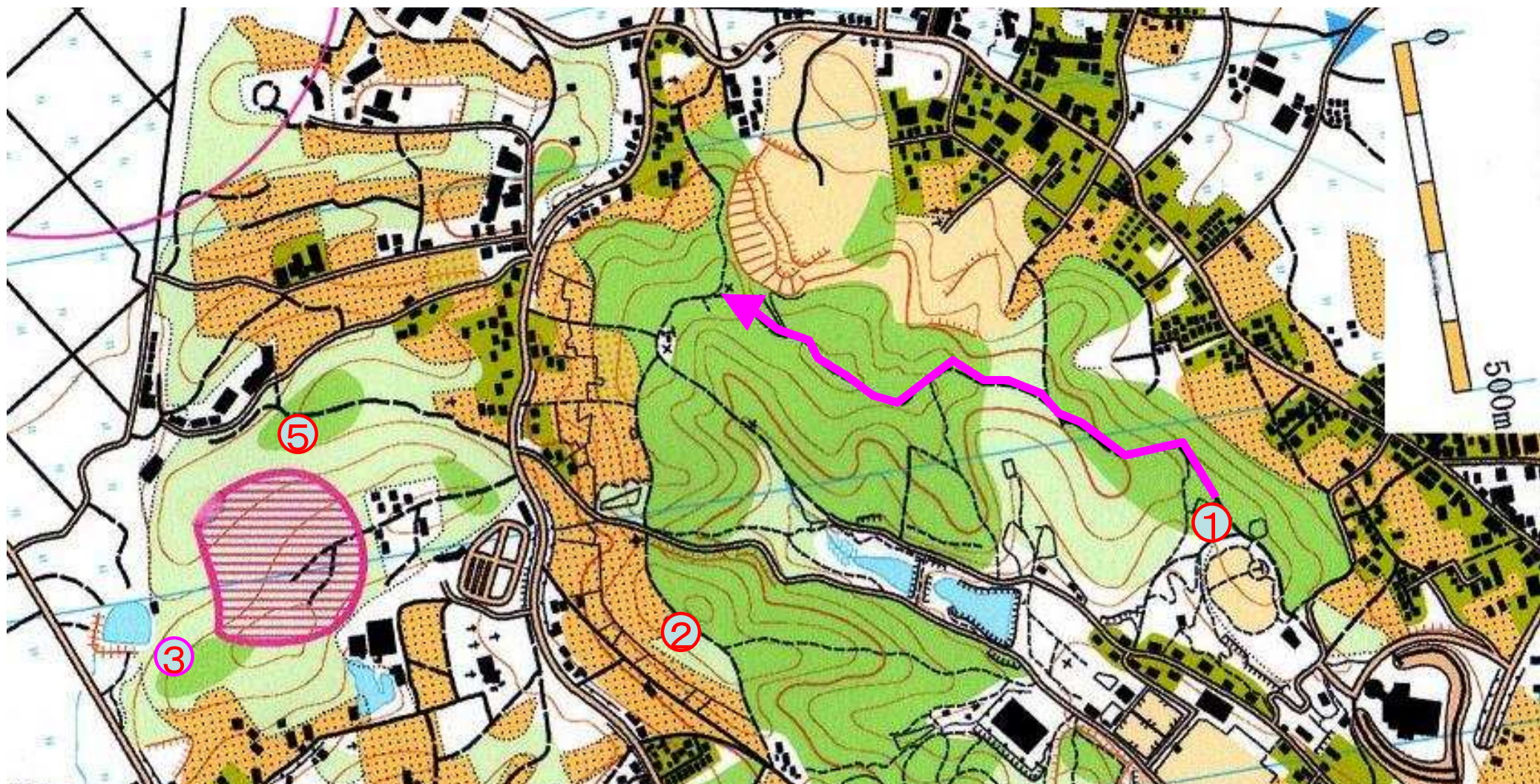
ローラー作戦は全滅で、結局上の道までできてしまった。





⑩TX1
またTX1が鳴く。さっき出てきたと思われるところに入ってみる。意外とスムーズに入れる。TX1は正面だ。しばらく進むとアンテナが見えた。やっと見つけた。TX1ゲット





⑰ひたすら尾根道2

もうタイムオーバーは決定。TX5をとることを決意。尾根道をTX5, GOALに向かってとぼとぼと歩く。最後の段々を登って分岐に来た。「ふうー。」
右手はいかにも途中で道がなくなりそうな細い道。左はしっかりとした山道で、正面は下り斜面になっている。



⑱TX5

TX5が鳴く。至近距離だ。ATTを絞って方探。正面やや左の下り斜面だ。ちょうど地図にない道があったので、そこを駆け下りる。TX5は右手方向。目視確認。下り斜面を降りてTX5ゲット。



上州藤岡

⑬ゴールへ
山道に戻り、太い道まで降り、そのままゴールへの約1kmの長い道のりをとぼとぼトボトボ。GOAL



現地調査 埼玉ARDFクラブ、群馬ARDFクラブ
地図製作 群馬ARDFクラブ
緊急連絡先 (篠原)



2009北関東ARDF競技大会
2009高等学校ARDF競技大会

2009-May-10 群馬県藤岡市

縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
K.Shino OCAD9.6.1 License No.5883

おわり

藤岡



現地調査 埼玉ARDFクラブ, 群馬ARDFクラブ
地図製作 群馬ARDFクラブ
緊急連絡先

(篠原)



2009北関東ARDF競技大会
2009高等学校ARDF競技大会

2009-May-10 群馬県藤岡市

縮尺 1:15,000 等高線間隔 10m
K.Shino OCAD9.6.1 License No.5883

今回は近くに行っても容易にはわからない難しい設定であった。特にTX1のような設定は、某高校の練習会だったら教官からぶっとばされるような設置で、ARDF規則からみても微妙なところがあるものであったが、一参加者としてはたまにはあのような設置も楽しいのも事実である。

しかし、このような設定は競技者が団子になりやすく、その状態であれば面白みは激減する。今回はテレインが非常に広がったため競技者が分散したことで、団子状態が回避されたものと思われる。徒歩ARDFerにとってはつらい設定だが、面白さには代えられない。

難易度で大会の特徴をだすのも一興である。3.5MHzでこのような遠距離設置ができるのは群馬の経験と自信によるものと思う。ぜひ来年も高難易度に挑戦させていただきたい。